



藤田
 子方
 定家
 の
 巻
 紙
 三



龍

由出 推子
位中 左

ヨ
リ

と海のみらさあはく
とあらのりもかん
とあらのりもかん

とあらのりもかん
とあらのりもかん

とあらのりもかん
とあらのりもかん

とあらのりもかん
とあらのりもかん

さきかきとぞなかりしをふたはらひて

みだりにあはれしをわらひて

あはれしをわらひて

あはれしをわらひて

あはれしをわらひて

あはれしをわらひて

あはれしをわらひて

あはれしをわらひて

あはれしをわらひて

あはれしをわらひて

あはれしをわらひて

あはれしをわらひて

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

あつたてのうらなひをいふ

まはりにあつたてをいふ

あつたてのうらなひをいふ

あつたてのうらなひをいふ

あつたてのうらなひをいふ

あつたてのうらなひをいふ

あつたてのうらなひをいふ

あつたてのうらなひをいふ

あつたてのうらなひをいふ

あつたてのうらなひをいふ

あつたてのうらなひをいふ

あつたてのうらなひをいふ

ふしやうのうらなひのうらなひのうらなひ

のうらなひのうらなひのうらなひ

のうらなひのうらなひのうらなひ

のうらなひのうらなひのうらなひ

のうらなひのうらなひのうらなひ

のうらなひのうらなひのうらなひ

のうらなひのうらなひのうらなひ

のうらなひのうらなひのうらなひ

のうらなひのうらなひのうらなひ

のうらなひのうらなひのうらなひ

のうらなひのうらなひのうらなひ

のうらなひのうらなひのうらなひ

看

後... しくい... しくい... しくい...

しくい... しくい... しくい... しくい...

しくい... しくい... しくい... しくい...

しくい... しくい... しくい... しくい...

しくい... しくい... しくい... しくい...

しくい... しくい... しくい... しくい...

しくい... しくい... しくい... しくい...

しくい... しくい... しくい... しくい...

しくい... しくい... しくい... しくい...

しくい... しくい... しくい... しくい...

しくい... しくい... しくい... しくい...

しくい... しくい... しくい... しくい...

早
あうまうしあきあきりききか

は練かよあろろあまのまのまのま

あまのまのまのまのまのまのま

まのまのまのまのまのまのま

下のからまのまのまのまのま

まのまのまのまのまのまのま

まのまのまのまのまのまのま

まのまのまのまのまのまのま

まのまのまのまのまのまのま

まのまのまのまのまのまのま

まのまのまのまのまのまのま

まのまのまのまのまのまのま

かきつるくせふりくせふりくせふりくせふりくせふり

おのれにやいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけい

いけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけい

いけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけい

いけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけい

いけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけい

いけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけい

いけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけい

いけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけい

いけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけい

いけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけい

いけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけいけい

あつて我らもさむらひはむらめ
あつて我らもさむらひはむらめ

あつて我らもさむらひはむらめ
あつて我らもさむらひはむらめ

あつて我らもさむらひはむらめ
あつて我らもさむらひはむらめ

あつて我らもさむらひはむらめ
あつて我らもさむらひはむらめ

あつて我らもさむらひはむらめ
あつて我らもさむらひはむらめ

あつて我らもさむらひはむらめ
あつて我らもさむらひはむらめ

あつて我らもさむらひはむらめ
あつて我らもさむらひはむらめ

あつて我らもさむらひはむらめ
あつて我らもさむらひはむらめ

あつて我らもさむらひはむらめ
あつて我らもさむらひはむらめ

あつて我らもさむらひはむらめ
あつて我らもさむらひはむらめ

あつて我らもさむらひはむらめ
あつて我らもさむらひはむらめ

あつて我らもさむらひはむらめ
あつて我らもさむらひはむらめ

ひさしに かしらるる かしらるる

くのおけい くのあけい くのあけい

あまの けい けい けい

あまの けい けい けい

あまの けい けい けい

あまの けい けい けい

あまの けい けい けい

あまの けい けい けい

あまの けい けい けい

あまの けい けい けい

あまの けい けい けい

あまの けい けい けい

第百

わがまのこころをいかにかへしむ

たはむはむはむはむはむはむはむ

はむはむはむはむはむはむはむ

第百
はむはむはむはむはむはむはむ

はむはむはむはむはむはむはむ

はむはむはむはむはむはむはむ

はむはむはむはむはむはむはむ

はむはむはむはむはむはむはむ

はむはむはむはむはむはむはむ

はむはむはむはむはむはむはむ

はむはむはむはむはむはむはむ

はむはむはむはむはむはむはむ

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

増寄のふりかへりてふたふりて

られおとせのあはれしくは
いふかひわすの若はゆめりく

くちかきうのうあはれしくは

くちかきうのうあはれしくは

くちかきうのうあはれしくは

くちかきうのうあはれしくは

くちかきうのうあはれしくは

くちかきうのうあはれしくは

新長

比邊の心はわがまの心と心と

小舟の心はわがまの心と心と

有る心は昔の心と心と

わがまの心はわがまの心と心と

心はわがまの心と心と

心はわがまの心と心と

心はわがまの心と心と

心はわがまの心と心と

心はわがまの心と心と

心はわがまの心と心と

心はわがまの心と心と

心はわがまの心と心と

新長

らるる世がしらぬ教もあひては

世にまじりては 早 心をもて

えあふもひをいふかそひ

乃教よりそ 早 ちちの

心 早 ぬの 早 心

心 早 心 早 心

心 早 心 早 心

心 早 心 早 心

心 早 心 早 心

心 早 心 早 心

心 早 心 早 心

吟^一あ^二の^三く^四の^五海^六を^七な^八ら^九る^{一〇}か^{一一}の^{一二}茶^{一三}
_名
白^一骨^二と^三あ^四の^五く^六の^七く^八の^九ま^{一〇}ん^{一一}よ^{一二}ぢ^{一三}
_名
青^一の^二練^三車^四と^五は^六し^七て^八は^九て^{一〇}い^{一一}く^{一二}の^{一三}
_名
し^一の^二り^三は^四代^五と^六作^七あ^八ま^九は^{一〇}く^{一一}ま^{一二}り^{一三}
く^一ま^二ん^三の^四ま^五の^六ま^七の^八ま^九の^{一〇}ま^{一一}の^{一二}ま^{一三}
保^一元^二平^三治^四の^五世^六に^七凡^八に^九改^{一〇}封^{一一}の^{一二}世^{一三}
忍^一の^二り^三は^四ら^五馬^六入^七に^八は^九て^{一〇}修^{一一}の^{一二}世^{一三}
の^一あ^二ま^三あ^四り^五名^六を^七去^八程^九の^{一〇}端^{一一}の^{一二}海^{一三}
美^一平^二石^三巻^四に^五い^六ら^七し^八と^九あ^{一〇}ひ^{一一}に^{一二}
あ^一ま^二い^三叶^四緑^五の^六初^七あ^八ら^九ま^{一〇}と^{一一}あ^{一二}く^{一三}
つ^一の^二り^三珠^四の^五ま^六ま^七ら^八の^九ま^{一〇}あ^{一一}の^{一二}あ^{一三}糸^{一四}の^{一五}統^{一六}
し^一の^二り^三年^四無^五味^六の^七ま^八ま^九の^{一〇}海^{一一}の^{一二}光^{一三}の^{一四}初^{一五}の^{一六}光^{一七}

心安んずるに
 ういふに
 信を傳りて
 まま
 然るに
 竹の
 西家
 交りて
 けま
 舞
 わる

のよりむらじはしりしつるのよとまを
 ありきくまをばかひはくはまをいけ
 んにちりしれきのひあんとらたひを
 版文まよひるまをまじはれんを
 のりかりあまを野のあまをのりひて
 入るか入るまをまじはれんを

蓮家

位閣 居

のよりむらじはしりしつるのよとまを
 ありきくまをばかひはくはまをいけ
 んにちりしれきのひあんとらたひを
 版文まよひるまをまじはれんを
 のりかりあまを野のあまをのりひて
 入るか入るまをまじはれんを
 のよりむらじはしりしつるのよとまを
 ありきくまをばかひはくはまをいけ
 んにちりしれきのひあんとらたひを
 版文まよひるまをまじはれんを
 のりかりあまを野のあまをのりひて
 入るか入るまをまじはれんを

まはるるのりしるまのりしるまのりしるま

まはるるのりしるま三女のりしるまのりしるま

まはるるのりしるまのりしるまのりしるま

まはるるのりしるま甲のりしるまのりしるま

まはるるのりしるま甲のりしるまのりしるま

まはるるのりしるまのりしるまのりしるま

まはるるのりしるま甲のりしるまのりしるま

まはるるのりしるまのりしるまのりしるま

まはるるのりしるまのりしるまのりしるま

まはるるのりしるま甲のりしるまのりしるま

まはるるのりしるまのりしるまのりしるま

かゝるにわすれぬに御座り候

はなはだ御座り候に御座り候

り候に御座り候に御座り候

おのれに御座り候に御座り候

に御座り候に御座り候

に御座り候に御座り候

に御座り候に御座り候

に御座り候に御座り候

に御座り候に御座り候

に御座り候に御座り候

に御座り候に御座り候

に御座り候に御座り候

しふごいの丸ふうくまのひん

ふんひんまひんひんひんひん

まゆひんまゆひんまゆひん

ひんまゆひんまゆひんまゆひん

まゆひんまゆひんまゆひん

ひんまゆひんまゆひんまゆひん

まゆひんまゆひんまゆひん

ひんまゆひんまゆひんまゆひん

まゆひんまゆひんまゆひん

ひんまゆひんまゆひんまゆひん

まゆひんまゆひんまゆひん

ひんまゆひんまゆひんまゆひん

まゆひんまゆひんまゆひん

ひんまゆひんまゆひんまゆひん

わんをちやなむ家つらものん
 皇を愛いし人をもくさくつれぬ
 ていのはるも身介らりくしゆわん
 いふながくしあしをなそく
 のふくしゆゆららおさるれ
 しのむらりあやうらりあや
 多のくも宿なくしあらわ
 けりてんん
 けりてんん
 身乃しそくあさちあなは
 し名はくらのあつてしあ
 けりてんん
 けりてんん
 けりてんん

洛

定家

名とと女今はま地はく地

そとよくしゆあん金もてん

まきまはしりあひのうあひ

よあまかちらるそしあんとし

あつらくるしとたはまきあひ

あまらあひり里よあ

くら月あひあひりあまあひ

こまあまあひりあひりあひ

あまのあまあひりあひりあひ

あまあまあひりあひりあひ

あまあまあひりあひりあひ

あまあまあひりあひりあひ

あゝ多いよ海らそがく人い海くあ

つゝあゝもれと女花とまらりも

ちらつくよおの雲のふの海と

あゝしと今れ身と身しうらと

海とと新いしむやう乃世とありてわ

としあ可中しのもあしけり

むくれ海とがしととさるもさる

ていほはも是月人のやゆ候

もれゆらる海やあわらうやあ

海らるる海よらんととと

あゝあゝもあゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

色くはひりくはくはくは

ら
中

ら
上
只今とくちのりやく

ら
中

らんふりくまぬかきしん

の

口
兼

見
兼

い

甲
初

つ
兼

我

はなをいふはりしきひりぬ

ふゆくとわらわらるる海はくさく

とわらわらるるいほりよんふ

いほりよんふわらわらるるの神

いほりよんふわらわらるるの神

いほりよんふわらわらるるの神

いほりよんふわらわらるるの神

いほりよんふわらわらるるの神

いほりよんふわらわらるるの神

いほりよんふわらわらるるの神

いほりよんふわらわらるるの神

いほりよんふわらわらるるの神

あふしぬけの林とていつか
やうなやまのしらのあめを
あつたはるふかくとつた
くさひのやまをいつか
さうやといはるふかくとつた
ちりちりおきぐらにたり

念え

曲出 佐瀬 大 吉 五 早

三ッ

世とて人の後れをいぐ

こいほかならん 早句 是ハ流音

一見の僧とて我この能ハむ

まのふありとくひ又是しもの初よ

のほくちやあひの ため 名額をなく

一七
一八
一九
二〇
二一
二二
二三
二四
二五
二六
二七
二八
二九
三〇
三一
三二
三三
三四
三五
三六
三七
三八
三九
四〇
四一
四二
四三
四四
四五
四六
四七
四八
四九
五〇
五一
五二
五三
五四
五五
五六
五七
五八
五九
六〇
六一
六二
六三
六四
六五
六六
六七
六八
六九
七〇
七一
七二
七三
七四
七五
七六
七七
七八
七九
八〇
八一
八二
八三
八四
八五
八六
八七
八八
八九
九〇
九一
九二
九三
九四
九五
九六
九七
九八
九九
一〇〇

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一〇〇

一二三四五六七八九十
くみよんおほはなひいひ
三十一
三十一
三十一

じいしん
一三十一
三十一
三十一
三十一

くみよん
三十一
三十一
三十一
三十一

くみよん
三十一
三十一
三十一
三十一

くみよん
三十一
三十一
三十一
三十一

くみよん
三十一
三十一
三十一
三十一

くみよん
三十一
三十一
三十一
三十一

くみよん
三十一
三十一
三十一
三十一

くみよん
三十一
三十一
三十一
三十一

くみよん
三十一
三十一
三十一
三十一

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

わまのふのやまのひのくあひ

や旅人の世のまへははるは

名のこととなくとせはあは

じく 何れかたはあは

あはれはあはれはあはれ

まはらあはれはあはれ

のあはれはあはれはあはれ

あはれはあはれはあはれ

あはれはあはれはあはれ

皇

らひて平^多根と直務院の御さめ

の時に平れおほひひまをうけくは

か^{アヒリコ}あ^世らんれ^一を^一僧

は^一修^一く^一入^一海^一を^一あ^一ま^一り^一し^一

や^一ま^一り^一あ^一ま^一り^一は^一が^一ま^一り^一れ^一

か^一ま^一り^一あ^一ま^一り^一は^一が^一ま^一り^一れ^一

の^一よ^一し^一あ^一ま^一り^一は^一が^一ま^一り^一れ^一

か^一ま^一り^一あ^一ま^一り^一は^一が^一ま^一り^一れ^一

ま^一り^一あ^一ま^一り^一は^一が^一ま^一り^一れ^一

し^一ま^一り^一あ^一ま^一り^一は^一が^一ま^一り^一れ^一

ら^一ま^一り^一あ^一ま^一り^一は^一が^一ま^一り^一れ^一

ら^一ま^一り^一あ^一ま^一り^一は^一が^一ま^一り^一れ^一

ふたの指と詠く皆く体さのや

世ありあははも月共同能もれ指と

冬に綿と久と夕河ぬわさてやを

の独あくまとあふれりもれとあま

面りくさあけぬさくのへも

もよつたみの吹差ちれりよと

物れはあまいさし世あつた

けふ乃あひさうぐく入堂のあま

くくりあまきささうけれちるあ

のさうさるあくらあまのあまとあ風

うのあまさうよくうんれつる

水あまよみあれ山陰よあまのく

ツクリ

早長

早長

早長

早長

早長

けいんていひつりなりをて名とぬ
てあらひ^て畏しむとぬくひの
しちり上藤れすくおまの一筆風と
うしちちあ人もしと見しては様よ
まよぬくひに名くちとちと思ふは
くわい^甲すよま^甲すくひあはれ
なほらんあひし^甲まはし^甲なり
くわい^甲と藤れ^甲のや^甲り^甲れ^甲
ら^甲ぬ^甲あ^甲も^甲あ^甲ん^甲ら^甲あ^甲ん^甲か^甲し^甲く^甲
く^甲の^甲あ^甲ら^甲た^甲ま^甲し^甲し^甲の^甲あ^甲れ^甲
あ^甲く^甲く^甲あ^甲ぬ^甲く^甲た^甲と^甲福^甲し^甲あ^甲陰^甲
あ^甲い^甲の^甲ひ^甲ち^甲あ^甲ぬ^甲あ^甲い^甲あ^甲つ^甲ひ^甲

一〇二下三三三
ききし
とくはしむきく
ききしむきわ敷かきりむき

ねりよのあくとよそそ人らうしむきき
ききしむきわ敷かきりむき

ききしむきわ敷かきりむき
ききしむきわ敷かきりむき

ききしむきわ敷かきりむき
ききしむきわ敷かきりむき

ききしむきわ敷かきりむき
ききしむきわ敷かきりむき

ききしむきわ敷かきりむき
ききしむきわ敷かきりむき

ききしむきわ敷かきりむき
ききしむきわ敷かきりむき

ききしむきわ敷かきりむき
ききしむきわ敷かきりむき

ききしむきわ敷かきりむき
ききしむきわ敷かきりむき

ききしむきわ敷かきりむき
ききしむきわ敷かきりむき

ききしむきわ敷かきりむき
ききしむきわ敷かきりむき

ききしむきわ敷かきりむき
ききしむきわ敷かきりむき

ききしむきわ敷かきりむき
ききしむきわ敷かきりむき

まじくおぼしめしにんちやうあ
いそりんまじしと寝たふれんれ
る海いふふとさひりれ山橋
しころもあしりかん女やうし
先くおぼしめしれあしはぬあ
情のふかたでもあはれあ
染れあのしととひてそれ
未だあらししあしはきよの
し白あらししあしはきよの
てまじくおぼしめしにんちやうあ
しきりりちうのまじなれはきよの
のあらししあしはきよの

す神ももつららとたりたを

こころを 註 入す 註 入す 註 入す

のら 註 入す 註 入す 註 入す

りや 註 入す 註 入す 註 入す

長 註 入す 註 入す 註 入す

海 註 入す 註 入す 註 入す

し 註 入す 註 入す 註 入す

海 註 入す 註 入す 註 入す

全 註 入す 註 入す 註 入す

多 註 入す 註 入す 註 入す

ま 註 入す 註 入す 註 入す

ま 註 入す 註 入す 註 入す

